神大と工大 先勝

第2週 第1日

神奈川大―横浜商大、神奈川工大―鶴見大の1回戦2試合が7日、サーティーフォー相模原球場で行われ、神大と工大が先勝した。

神大は1―1のタイブレーク十回、1死満塁で江越啓太（3年）が決勝の押し出し四球を選んだ。工大は島村純平（4年）が9回を1失点完投で勝利した。

第2週第2日は8日、横浜スタジアムで鶴見大―工大、商大―神大の2回戦を行う。

◇1回戦（神大1勝）

神奈川大	0	0	0	0	0	0	0	1	0																
横浜商大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	5	0	1											

（タイブレーク十回）

◇1回戦（工大1勝）

神奈川工大	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
鶴見大	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

神大 中野、エース対決制す

「初戦のマウンドに立つからには、エースとして勝利に導く責任がある。」神奈川大の右腕中野が、覚悟を持って臨んだ横浜商大の左腕渡辺とのエース対決を制した。

今秋初登板で本来の調子ではなく、投球は高めに浮いた。そんな中で「直球で攻めて三振を取る」という自分のスタイルを捨てられたのは、信頼する女房役・橋谷が「変化球もバランス良く交ぜて散らして、打ち損じを狙おう」と機転を利かせてくれたからだ。9回を4安打5奪三振1失点で抑えて、タイブレークでの秋季リーグ初勝利へと導いた。

昨年の大エース・浜口遥大（横浜DeNA）を受け継いだ3年生は、今春はリーグ2位タイの3勝を挙げて「エース不在」とも言われた投手陣をけん引する存在に急成長。「雲の上の存在だった浜口さんのように、この秋は3戦全部投げ勝つエースになりたい」と力強さも増してきた。8月のユニバーシアード大会で大学日本代表コーチも務めた吉川祐一監督（46）は「いずれは代表級に成長してほしい」と期待を込める。

大分商高出身の背番号18が「浜口さんのように調子の良し悪し関係なくチームを勝たせたい」と、2季ぶりの王座奪還へチームを導く。

（矢部 真太、写真も）

9回1失点と力投した神奈川大・エース中野＝サーティーフォー相模原球場

渡辺先発も白星遠く

⑪…商大のエース渡辺は早くも3試合目となる先発マウンド。八回途中1失点と好投したがまたも勝利を飾れず、「打線が苦しんでいたから抑えたかった」と唇を噛んだ。「悔しくないのか。気持ちが足りないんだ」とげきを飛ばした佐々木監督も、「期待しすぎているのかな」と勝てないエースに首をかしげた。

【神大】

		打	安	点
⑥	山賀	5	2	0
⑧	畠井	4	2	0
⑧	岡田	4	0	0
DH	政井	3	1	0
⑨	城田	1	1	0
RD	荒井	4	1	0
③	松村	3	0	0
R9	小藤	0	0	0
⑤	遠藤	0	0	0
R2	藤佳	2	1	1
⑤	伊尾	2	1	0
⑦	三橋	4	0	0
振	球	犠	併	残
4	5	4	0	1

投	回	打	安	責
佐野	9	35	4	1

【商大】

		打	安	点
⑨	佐藤	4	0	0
④	向坂	4	0	0
⑤	大野	3	1	0
⑤	西城	4	3	0
②	浅林	4	1	0
DH	青木	3	1	0
HR	松門	1	0	0
⑦	藤原	0	0	0
⑦	吉川	3	1	0
⑥	大畑	3	1	0
H	福田	1	0	0
6	谷口	1	0	0
	黒川	0	0	0
	堀	0	0	0
振	球	犠	併	残
5	4	1	0	7

投	回	打	安	責
渡辺	7½	34	7	1
豊	1½	7	3	0

▽本塁打 西林（中野）

▽二塁打 江越

▽盗塁 川崎、豊井、西川

▽審判 佐藤、土田、田中、菅野

▽試合時間 2時間49分

【工大】

		打	安	点
⑧	長嶋	4	2	1
⑦	田本	3	0	0
⑤	小林	4	1	0
③	小寒	3	0	1
⑨	保川	4	3	0
DH	中川	4	3	0
②	村上	3	1	0
⑥	島	3	2	0
④	石川	3	1	0
振	球	犠	併	残
6	4	3	0	7

投	回	打	安	責
島村	9	38	5	0
竹内	9	38	7	2

【鶴見大】

		打	安	点
⑦	倉岡	5	0	0
DH	遠藤	4	0	0
⑨	神宮	3	0	0
⑧	青木	3	1	0
④	吉林	4	0	0
R3	仲谷	3	0	0
⑤	柳谷	0	0	0
R5	伊藤	0	0	0
③	矢野	2	0	1
R8	須藤	0	0	0
RH	浅井	1	0	0
8	岡山	0	0	0
②	宮崎	2	1	0
H2	佐藤	1	0	0
4	左藤	2	0	0
振	球	犠	併	残
6	5	1	2	10

投	回	打	安	責
鈴木	9	38	5	0

▽二塁打 長嶋

▽盗塁 川島、小椋、青木

▽失策 仲谷

▽暴投 鈴木、竹内

▽審判 佐藤、土田、藤原、櫻田

▽試合時間 2時間31分